

青木村義民太鼓保存会

信州青木村『義民太鼓』& 山中信人 津軽三味線 演奏会



賛助出演 津軽三味線 山中信人
第35回記念津軽三味線世界大会
最上級男性A級個人戦チャンピオン獲得



2016年 **7/30** **土**
開演14:00 (開場13:00)

会場：東京経済大学 国分寺キャンパス 4号館D101教室

参加費：1,000円 (大倉記念学芸振興会会員・学生は無料)
※参加費は当日受付で申し受けます。※6歳以下のお子様は入場できません。

申込方法：事前申込制。裏面の申込用紙にご記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。
また、本学ウェブサイトからも申し込いただけます。(電話での申込は受け付けておりません)

申込締切：2016年7月26日(火) ※ただし、定員に達し次第、申込受付は締め切らせていただきます。

定員：先着500名 ※申込順に予約券を発送いたします。

主催：東京経済大学・大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会

【国分寺駅からのアクセス】



青木村義民太鼓保存会 信州青木村『義民太鼓』

信州・青木村は、昔から百姓一揆が多く起こった地域です。その一揆の首謀者となり、処刑された人たちは各地域で“義民”として奉られ、その意志は村の人々に語り伝えられてきました。

青木村では、江戸時代に5件の百姓一揆が起きています。その中で天和2年(1682年)、増田与兵衛が庄屋の不当利得によって村人が苦しんでいるのを見かねて藩主に直訴したのが最初の事件です。願いは聞き届けられ村人は救われましたが、当時の掟により与兵衛父子は死罪となってしまいました。その後4回の一揆が起こり、処刑された首謀者は義民として祭られ、各地区でお祭や供養が行われてきていました。そして、与兵衛の事件から300年にあたる昭和57年に、村全体の顕彰活動として「義民祭」が開催され、義民顕彰会が作られたのと併せ、義民の功績を後世に伝えるための「義民太鼓」が作られました。

その太鼓を通じて義民顕彰の心を伝えるため出来たのが「青木村義民太鼓保存会」です。現在、主に大人で構成する本来の保存会と、小学生から高校生までの子どもが中心に活動する「こまゆみ会」があり活動をしています。



津軽三味線奏者 やまなか のぶと 山中 信人 氏

中学校卒業後15歳で単身青森県弘前市に渡り、津軽三味線奏者「山田千里(やまだちさと)」の内弟子として民謡酒場に住み込み4年間修業。山田流師範となる。毎年青森県弘前市でおこなわれる津軽三味線全国・世界大会にてC級B級連続優勝、最上級男性A級優勝、また津軽民謡の伝統的な唄付けの技術を競い合う「唄付け伴奏部門」で3回の優勝を獲得。海外計20カ国で演奏。約16年にわたり「南中ソーラン」など現代風にアレンジした民謡を演奏する伊藤多喜雄&タキオバンドのメンバーとして活動。2015年出雲大社、日光東照宮にておこなわれた「市川海老蔵奉納舞踊公演」出演。

現在はソロ奏者として演奏会、学校公演、講演会などで活動中。洗足学園音楽大学非常勤講師。加須市観光大使。
※2016年5月4日青森県「弘前市民会館」でおこなわれた第35回記念津軽三味線世界大会にて最上級男性A級個人戦チャンピオン獲得。

下記申込用紙に必要な事項をご記入の上、FAXまたは郵便でお送りください。
本学ウェブサイトからも申し込めます。(※電話では受け付けておりません)

お申込先

東京経済大学 広報課 FAX: 042-328-7768

〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34 ウェブサイト: <http://www.tku.ac.jp/>

申込締切: 2016年7月26日(火)必着

信州青木村『義民太鼓』& 山中 信人 津軽三味線 演奏会 申込用紙

住所 〒 都道 市区
府県 町村

フリガナ 氏名 電話番号

参加人数 申込者ご本人を含めて参加を希望される人数 名 (うち学生・生徒・児童) FAX 番号

区分

該当する区分を
○で囲んでください

大倉正会員・一般会員

本学・他学学生/生徒/児童

本学・他学教職員

本学卒業生

市民・その他

ご一緒に、多摩の文化を、いきいきと。

大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会の加入案内の希望
どちらかを○で囲んでください

加入案内を希望する

加入案内を希望しない

★今後、企画イベントの案内送付を希望される方はチェック✓を入れて下さい。→

※ご記入いただいた個人情報、大倉記念学芸振興会に関する連絡以外には使用いたしません。